

星 宙 通 信

ほし ぞら つう しん

2024
7 月

浪合パーク
2024.6.13発行
#2

7月7日は七夕。織姫・彦星も上がっていますが、まだ高度が低く、この時期天の川を見るなら深夜がおすすめです。20時頃に天高く上がる天の川を見られるのは、8~9月になります。さて、今月のトピックは2つ！「土星食」と「みずがめ座δ 南流星群とやぎ座α 流星群」です。

- ① 「土星食」とは土星が月に隠される珍しい現象で、25日の朝6:30頃見られます。
- ② 隣接した二つの星座の流星群は極大日が共に31日で、みずがめ座群は1時間に10個ほど、やぎ座群は数よりも火球の出現率が特に高いとされる個性的な流星群ですから、今から楽しみです！

7月の夜空

- 1日(月) 半夏生(はんげしょう)
- 6日(土) ●新月(二十四節気) 小暑
- 14日(日) ●上弦
- 15日(月) 火星が天王星の南0° 33' に接近
- 19日(金) 夏の土用の入り
- 21日(日) ●満月
- 22日(月) 水星が東方最大離角(夕方の西の空)(二十四節気) 大暑
- 25日(木) 6:30頃 土星食(月が土星を隠す)
- 28日(日) ●下弦
- 31日(水) みずがめ座δ南流星群 やぎ座α流星群 ともに極大日



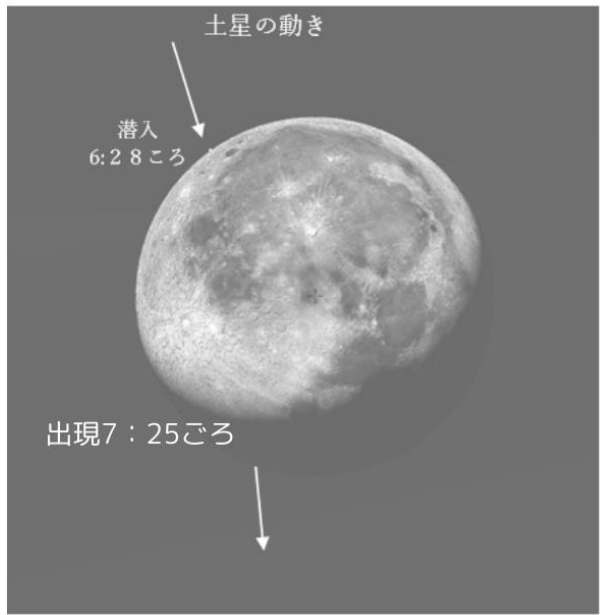
7月22日
「水星が東方最大離角」は「太陽からもっとも離れて見える日」なので、なかなか見られない水星がを見つけやすい日といえます。



今月のビックイベント①

土星が月に隠れる「土星食」

土星の巡る軌道に月が重なるのは非常に珍しいです！
7/25の朝月は西の空にあり、土星は矢印のように月の左上あたりから隠れ、真下あたりから出現します。
望遠鏡で昼間の土星が見られますよ。
ぜひ朝早起きして見てみましょう！

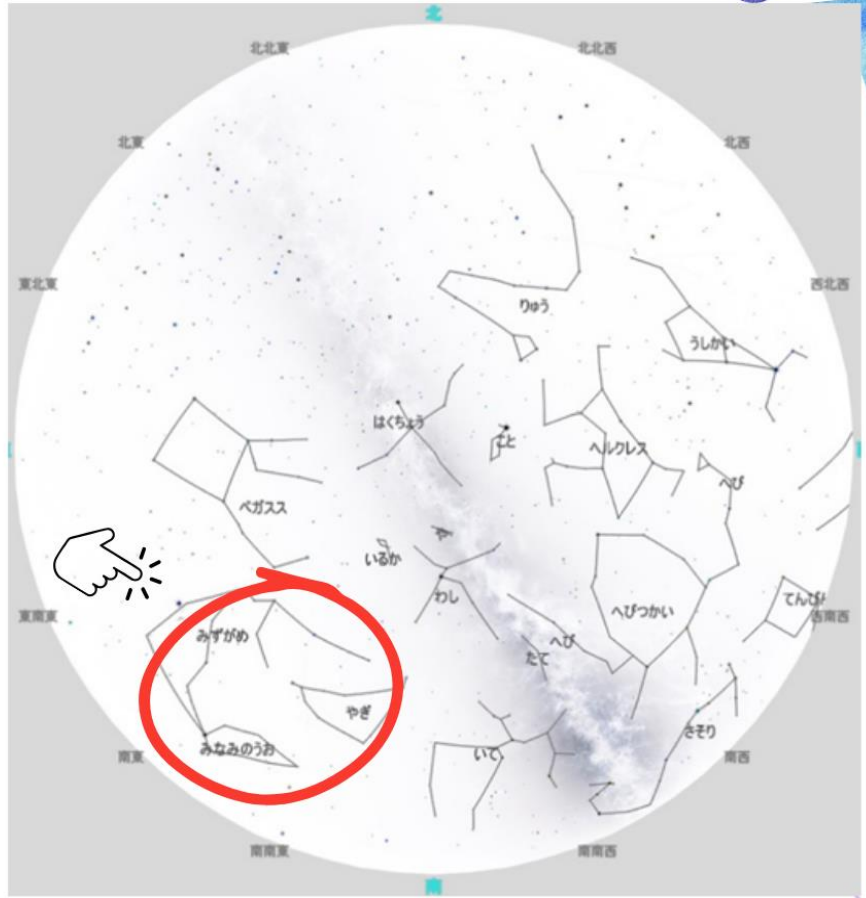


7月31日は「みずがめ座δ 流星群・やぎ座α 流星群」

みずがめ座、やぎ座は秋の星座なので、さそり座、いて座の後から上がってきます。

右の図は23時ころの南の空です。天の川を天頂に見ながら、流れ星が見られそうです！

お天気が良ければ少し夜更かしして夜空を眺めてみよう



同時期に8月12日にピークを迎えるペルセウス座流星群も飛び始めるため、7月後半は特に多くの流れ星が見られるでしょう！

7月オススメ星座

「夏の大三角」の前に上がる星座を見よう！

- ☆かんむり座 ☆りゅう座 ☆さそり座
- ☆へびつかい座・へび座 ☆てんびん座
- ☆ヘルクレス座 ☆うしかい座 (春)

今月見頃の天体

- ★球状星団 M13 (ヘルクレス座) M4 (さそり座)
- ★惑星状星雲 M57 (ドーナツ星雲・こと座)
- ★散開星団 M6・M7 (さそり座)



記事を書いた人

星空案内人認定制度により、2015年に「星空案内人」となる。飯田市美術博物館プラネタリウム解説員として5年、阿智村「天空の楽園 ヘブンス そのはら」にて星空ガイドを6年担当。わかりやすい解説、もっと星を見たくなる、知りたくなる星空ガイドを心がける。小さな天文学者の会会員。長野県プラネタリウム連絡協議会会員。



星空案内人 川手俊美